

「愛知県歯科口腔保健基本計画」の推進に関する平成26年度取組状況

「あいち歯と口の健康づくり八〇二〇推進条例」及び「歯科口腔保健基本計画」に基づき、乳幼児から高齢期までの生涯を通じた歯科疾患の予防及び歯の喪失予防、口腔機能の維持向上に関する施策の推進と、障害者(児)等が歯科受診しやすい環境整備を図った。

基本方針① 口腔の健康の保持・増進に関する健康格差の縮小

基本方針②～⑤の推進により、各指標の改善を図ることで健康格差の縮小を目指した。

基本方針② 歯科疾患の予防

基本方針③ 口腔機能の維持・向上

【う蝕対策に関する事業】

フッ化物洗口を始めとしたフッ化物応用を推進するとともに、乳歯から永久歯のう蝕予防へつながる事業構築のための支援を実施した。

(1) 乳歯う蝕対策支援事業 <各保健所>

効果的な乳歯う蝕対策を推進するため、母子健康診査マニュアルはじめ市町村における乳幼児歯科健診事業の評価・分析等による支援を実施。

(2) フッ化物洗口評価支援事業 <各保健所>

フッ化物洗口実施施設が円滑に継続実施できるよう、精度管理及び事業評価の支援を実施。

〔参考：平成26年3月末時点の愛知県内フッ化物洗口実施施設数（名古屋市、中核市含む）
966施設（内訳 幼稚園・保育所636 小学校321 中学校9）〕

(3) 永久歯う蝕対策支援研修会 <各保健所 年1回開催>

乳歯及び永久歯の健全な育成を図るため、幼稚園教諭、保育士、養護教諭、市町村保健関係者等を対象として研修会を開催。

(4) 第一大臼歯保護育成の推進 <健康対策課・各保健所>

永久歯う蝕の減少を図るため、リーフレットを活用し、8020達成の要の歯である第一大臼歯の保護育成を推進するための啓発を実施。

① 「こんにちは！6歳臼歯」

54,000部

配布対象：年長児または小学1年生とその保護者

② 「みんなで守ろう！ぼくの・わたしの・永久歯」45,000部

配布対象：フッ化物洗口実施施設の児童、保護者、関係者等



(1) 《新》 若い世代からの口腔ケア推進事業 〈愛知県歯科医師会委託〉

成人期の歯周疾患の改善にむけ、若い世代に働きかけ、生涯良好な口腔環境の維持につながるための事業を実施。

① 若い世代への歯科に関連する生活習慣の調査及び歯科検診の実施

大学生を対象とした歯科検診を実施し、口腔環境状況を把握するとともに歯科に関連する生活習慣状況のアンケートを実施した。

対象施設	回数	協力者数
椋山女学園大学	4回	678名（内訳：男 0、女 678）
愛知淑徳大学	3回	450名（内訳：男 90、女 360）
合計	7回	1,128名（内訳：男 90、女 1,038）

〈調査の結果〉

	お口の健康状態 に関心がある	定期歯科受診が 必要と思う	定期的に歯科 受診している	歯科検診状況 (歯肉炎がある)
椋山女学園大学	82.4%	84.5%	19.7%	31.8%
愛知淑徳大学	83.4%	83.4%	37.1%	36.8%

調査の結果から、歯・口の健康への関心は高く、定期的な歯科受診の必要性を認めているものの、実際に歯科受診している者の割合は低い状況であった。また、およそ3割の者に歯肉炎が認められた。

② 若い世代への出前講座の実施

歯科検診を実施した大学の学生に対し、口腔ケアの重要性を啓発するため、調査結果を踏まえ、歯科医師による講義を実施した。

対象施設	受講者数
椋山女学園大学	20名
愛知淑徳大学	200名
愛知学院大学	220名
合計	440名

③ 啓発資料の作成

今後、生活習慣・歯科検診の調査結果及び出前講座の結果を踏まえ若い世代の啓発媒体（リーフレット）を作成し県内の大学及び短大の学生に配布する予定である。

(2) 生活習慣病対策機能連携推進事業 〈愛知県歯科医師会委託〉

歯周病と糖尿病の関連について、関係者に広く理解を得るとともに機能連携の強化を図り、県民への普及啓発を実施した。

① 「生活習慣病シンポジウム～お口の健康と栄養管理でメタボ予防を！～」の開催

- ・日時 平成26年9月20日（土）
- ・場所 あいち健康プラザ健康科学館ヘルスサイエンスシアター
- ・参加者数 135名
- ・内容 講演「タニタ食堂に学ぶヘルシーライフ」、「糖尿病と合併症」、「歯周病と全身のかかわり」

② 生活習慣病指導医スキルアップ研修会の実施

- ・日時 平成27年1月25日（日）
- ・場所 愛知県歯科医師会館 歯～とびあホール
- ・受講者数 131名
- ・内容 講演「糖尿病克服こそは生活習慣病予防への道」、「国民の健康増進における歯科の役割」、「内科医が伝えたい糖尿病の合併症」

③ 歯周病と糖尿病との関係に関する啓発資料作成

- ・医科から歯科及び歯科から医科への糖尿病医科歯科連携情報提供書を作成する。

(3) 歯周病対策機能連携検討会議

県の歯周病対策の方向性と方策を協議し、関係機関・団体による機能連携の強化を図るための会議を開催。

日時：平成27年1月29日（木）

内容：歯周病と糖尿病の医療連携体制の推進について

(4) 歯周病対策ネットワーク推進会議〈各保健所 年1回以上〉

地域の歯周病対策の情報、課題を関係機関・団体で共有し、具体的な検討を行うため保健所で会議を開催。

(5) 歯周病対策普及講演会〈各保健所 年1回開催〉

地域の歯周病対策の推進と歯科保健医療の環境整備を図るため、歯周病の予防・治療に携わる関係者を対象とした講演会を開催。

(6) 普及啓発の推進〈健康対策課・各保健所〉

「歯周疾患の予防」に関するリーフレットを作成、配布し、市町村、職域及び学校保健活動等において啓発を実施。

①「ご存知ですか？歯周病と糖尿病の関係」の作成	15,000部
②「歯の健康づくり得点」の作成	15,000部
③「8020運動」の作成	20,000部
④「学齢期の歯肉炎予防」	63,000部



基本方針④ 定期受診困難者の歯科口腔保健の推進

(1) 《新》障害者（児）歯科口腔保健推進事業〈愛知県歯科医師会委託〉

障害者（児）がどこでも定期的な歯科検診・歯科医療受診ができるよう、「口腔ケアサポートマニュアル（仮称）」を作成、県内の歯科診療所、市町村保健センター、保健所等に配布予定
配布数：4000部

〈口腔ケアサポートマニュアル（仮称）の内容〉

治療に至るまでの、予防や保健指導の導入がスムーズにできるよう障害児者を治療室に慣れさせるための工夫、配慮など（一次予防）に重点を置いたものを予定している。

(2) 要介護者口腔ケアサービス連携推進事業〈各保健所 年1回開催〉

地域包括支援センターや介護施設関係者等、要介護者の口腔ケアに携わる関係者を対象とした「口腔ケア研修会」を開催するとともに、保健師、ケアマネージャー等関係者と調整しながら、要介護者及びその家族を対象として、訪問による助言及び支援を実施した。

基本方針⑤ 社会環境の整備に関する事業

(1) 歯科口腔保健対策部会〈健康対策課〉

歯科疾患を生活習慣病の一つとしてとらえ、生活習慣の改善、8020達成に向けての歯科保健対策の検討と評価を行うため開催。

日時：平成27年1月29日（木）

内容：健康日本21あいち新計画（歯科）及び愛知県歯科口腔保健基本計画の推進について

(2) 8020運動推進連絡協議会 〈各保健所 年2回開催〉

地域における歯科保健の情報、課題を関係機関・団体で共有し、歯科保健対策の推進に向けた具体的な検討事項を協議するため、各保健所で協議会を開催した。

(3) 地域歯科保健推進研修会 〈各保健所 年1回以上開催〉

保健所管内の歯科保健関係者を対象として、資質の向上及び連携を図るための研修会を開催した。

(4) 歯科保健関係職員研修 〈健康対策課〉

歯科保健関係職員を対象として、資質の向上及び業務の連絡調整を図るための研修会を開催。
(公社) 愛知県歯科衛生士会共催。

日 時：平成27年1月8日(木) 開催 (ウィルあいちセミナールーム)

対象者：市町村・保健所行政歯科保健関係者、(公社) 歯科衛生士会会員等 受講者92人

テーマ：災害時における口腔ケア支援活動と公衆衛生歯科機能について